

## 学生赤十字奉仕団が子どもたちと恒例の「第40回ゆうゆうキャンプ」を実施

平成26年8月18日(月)～19日(火)の2日間、鳥取砂丘こどもの国キャンプ場(鳥取市浜坂1157-1)において、鳥取学生赤十字奉仕団(委員長 山本憲典、団員数62名)と日本赤十字社鳥取県支部は共催で県下の子どもたちと「第40回ゆうゆうキャンプ」を開催しました。

当初は70名規模で開催する予定でしたが、異常気象による降雨がつづき、台風が連続して上陸する等の影響で、予定した日を延期し開催いたしました。結果として、延期にもかかわらず総勢50名(参加児童28名)余りで開催することが叶い、今年度も日赤鳥取県支部職員の協力で支えられ、無事にキャンプを終えることができました。

キャンプ中は時折、スクールに見舞われる時間帯もありましたが、晴れ間に恵まれ、子どもたちは炎天下のもと自然に囲まれた環境の中で、元気一杯に準備された催しで交流を深めました。

開会式では、日赤鳥取県支部の尾田事務局長より「延期にもかかわらず大勢のみなさんに参加をいただきありがとうございます。事故なくキャンプで赤十字について学んでください。」との歓迎挨拶がありました。

食事も自分たちで作り、火起こしや飯盒炊さん、災害時の炊き出し(ハイゼックス包装食)の体験をしました。レクリエーションではしっぽとりゲーム、人間智恵の輪などのほか、様々な催しを皆で協力し楽しく過ごす様子が見られました。こうした中で、子ども同士はもちろん、子どもと団員との絆も深まりました。

また、閉会式では、児童代表の感想で「ハイゼックス」「ゲーム」が思い出に残りました等の感謝の挨拶がありました。締めくくりに日赤鳥取県支部の長田総務課長より、安全にキャンプが終えられたことへの労いと、来年もキャンプでお会いしましょうとの挨拶をいただきました。

本団は日本赤十字社鳥取県支部が組織するボランティア団体で、県立看護専門学校生、鳥取大学生で構成され、児童養護施設での定期学習支援、防災ボランティアとしての日赤県支部への協力、県下行政のイベント協力などを定期的に行っています。

団員も学業はもとより、学習支援や多忙なボランティア事業のなどを怠ることなく、多忙の中で春からこの催しの準備をすすめてきました。参加した団員は「たくさん子どもたちと関わることができてよかった。」「子どもたちが楽しんでくれる姿を見て、準備を頑張ってたかったと思った。」など、キャンプを無事終えた達成感を確かめ合っていました。

本団の活動は、県下の地域の皆様方からの温かいご指導をいただいで活動を続けられるものと同感謝しております。今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

この場をお借りして、当キャンプにご協力いただきました鳥取市教育委員会、各小学校や福祉施設、ご協力団体に厚くお礼を申し上げます。



【全体集合写真】



【開会式】



【レクリエーション】



【食事づくり】



【食事の様子】



【思い出の寄せ書きづくり】